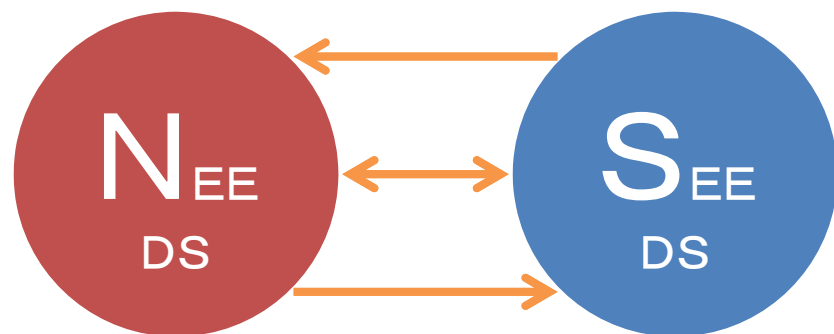


# 次世代社会インフラ用ロボット の開発・導入に向けた取組方針 (案)



経済産業省 製造産業局 産業機械課  
国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課

# 1. 今後の取組実施方針(案)

## (1) 現場ニーズ及び技術開発シーズの整理・分析

社会インフラ(道路及び河川・砂防等)の現場のニーズと共に、国内外の異分野も含めたロボット技術に係る技術シーズを調査・整理し、維持管理及び災害におけるロボット技術の開発・導入領域を明確化。

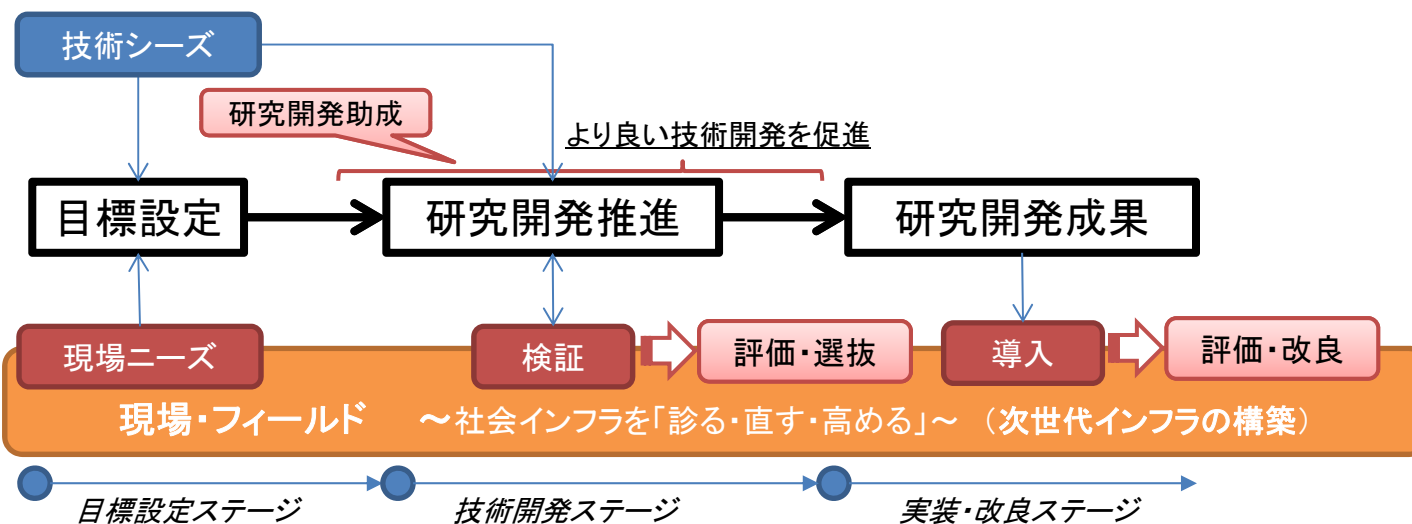
## (2) 産学等による優れた技術開発を支援

明確化したロボット技術分野に対し、公募を通じ、産学等の優れた技術開発を促進、支援。

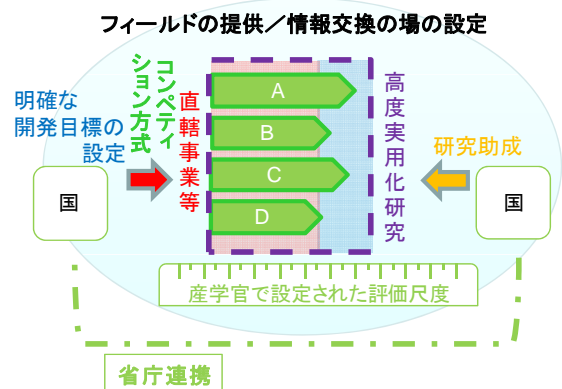
## (3) 研究開発成果の現場を活用したコンペティション方式による検証・評価・適用

技術開発段階において実際の現場で検証し、その結果に基づく評価を行い、より優れた成果を現場へ導入。また、導入状況を踏まえ、更なる技術改良を促進。

### 社会インフラ用ロボット開発・導入推進の流れ (イメージ)



(参考)



(「建設ロボット技術に関する懇談会」提言(平成25年4月)より)

## 2. 今後のスケジュール(案)

平成25年度 協力体制の構築、開発・導入準備

- 体制構築（7月）
- 技術開発・導入重点分野の特定（11月）
- 開発技術の評価方針決定（1月）
- 実証・導入フィールドの選定（3月）

平成26～27年度 技術開発の促進、現場実証、技術評価

- 促進対象技術開発の選定
- 技術開発支援、フィールド検証・評価

平成28年度 プロトタイプの現場への試行導入、改良

平成29年度 完成機の本格導入、本格運用

### －当面（今年）の検討スケジュール－

7月 検討会（検討会の設置／体制確立）《本日》

8月 課長級会合（今後の検討方針の確認）

8－9月 ・ロボット技術ニーズ調査（社会インフラの管理者、関係団体等へヒアリング・現場調査）  
・ニーズを踏まえたロボット技術シーズを整理分析

9月 課長級会合

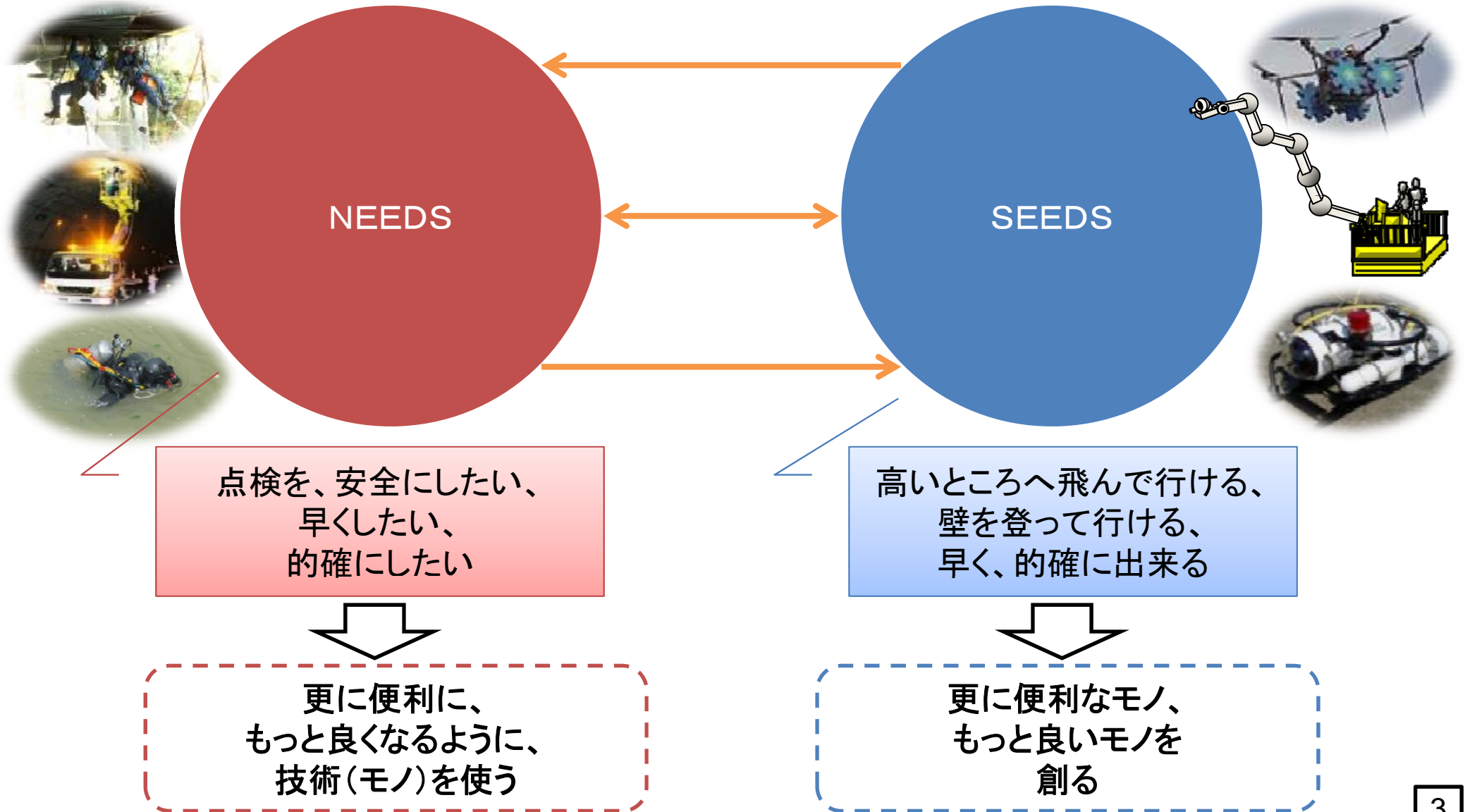
- ・ロボット開発の必要分野・箇所（ニーズ）及び技術開発動向（シーズ）の整理分析
- ・社会インフラロボット技術（開発・導入）重点分野（案）

9－10月 ・関係者（ヒアリング先等）へロボット技術重点分野の照会  
・ロボット技術重点分野（案）の精査

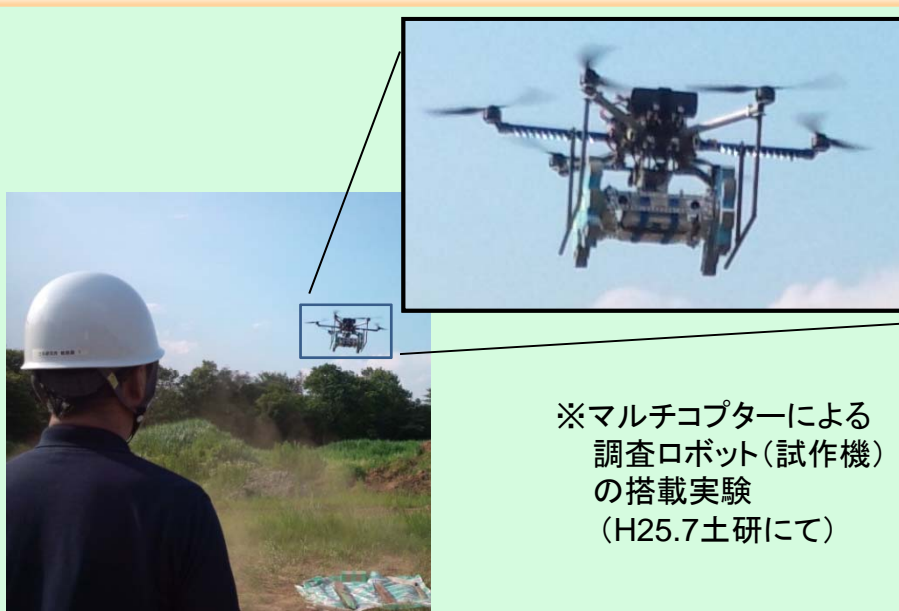
11月 検討会（分野・推進方策の提示）

- ・社会インフラロボット技術（開発・導入）重点分野の提示
- ・26年度の両省の取組事項・関係の確認

# ■■■■ ニーズとシーズのマッチング(イメージ) □■■■

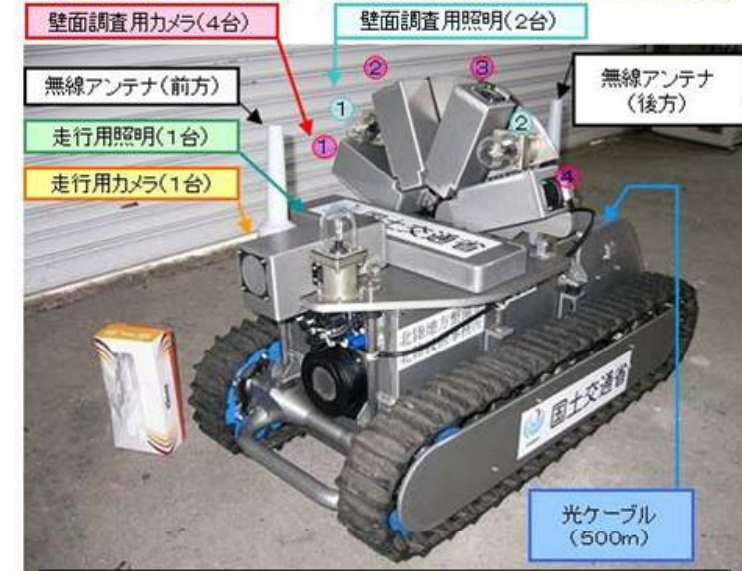


# 日々進歩する多様な技術 ◆ □



○マルチコプター (一般製品)

## ■移動局ユニット (壁面調査用カメラユニット)



寸法 L975mm×H680mm×W500mm、移動局重量計 81.7kg

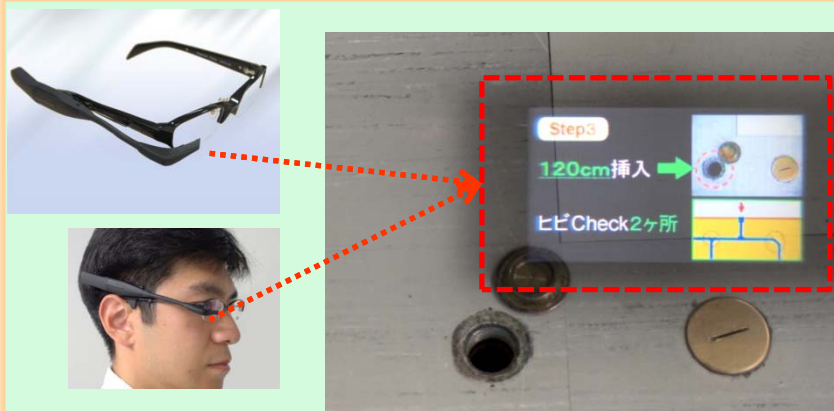
## ■基地局ユニット



●移動局コントローラのモニタ表示状況



●壁面調査用モニター(4画面)の表示状況



○映像出力装置 (試作品)

○トンネル無人点検調査ユニット (北陸地方整備局)